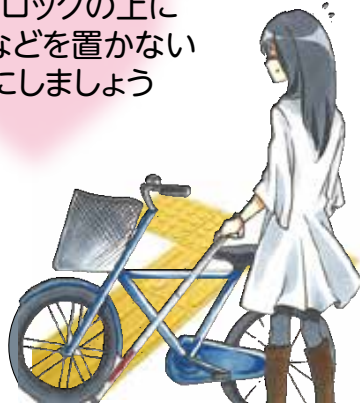


点字ブロックの上に
自転車などを置かない
ようにしましょう



妊産婦や高齢者に
席を譲りましょう



エレベーターで
ドアの開閉を
手伝うなどの
配慮をしましょう



こころの ユニバーサルデザイン

あなたのやさしさと
思いやりが
福祉のまちをつくります

誰もが安心して暮らせるまちをつくるためには、生活する一人ひとりがやさしさや思いやりを持つことが大切です。

今回は、心の触れ合う福祉のまちを目指すための「こころのユニバーサルデザイン運動」をご紹介します。

こころのユニバーサル デザイン運動とは

「ユニバーサルデザイン」とは、「すべての人のためのデザイン」を意味し、文化・言語・年齢・性別などの差異・障がいの有無・能力にかかわらず、できるだけ多くの人が利用しやすいように、製品や施設、環境などをデザインする考えです。誰もが暮らしやすいまちにするためには、スロープや点字ブロックなどの施設の整備だけでなく、施設を利用する一人ひとりの理解や思いやりが大切です。そこで、市では、「すべての人にやさしい」というユニバーサルデザインの考え方を、一人ひとりの意識の中にも取り入れるため、やさしさや思いやりの気持ちを一層育み広めていく「こころのユニバーサルデザイン運動」を推進していきます。

やさしさや思いやりを持ち 行動することが大切です

障がいのある人や体の不自由な人が外出する場合、

多くの不便があります。その不便を取り除くためには、次のような皆さんの配慮やサポートが必要です。

- ▽妊産婦や高齢者に席を譲る。
- ▽エレベーターが混み合っている時は、妊産婦や車いすを利用する人などが優先的に利用できるよう配慮したり、ドアの開閉を手伝ったりする。
- ▽点字ブロックの上に、自転車などの物を置かない。

やさしさを育む さまざまなマーク

誰もが安心して暮らせるよう、周囲の人にサポートをお願いするために考えられた、さまざまなマークがあります（7ページ上のマーク）。妊娠している人、聴覚障がい者、身体内部に障がいのある人など、見た目では分かりにくい人もいます。私たちが、マークの意味を知り、ちょっとしたやさしさや思いやりを持って行動すれば、きっと笑顔になる人が増え、「誰もが生活しやすいまち」となるでしょう。

◎毎月1日は「もったいないの日」日々の行動を振り返ろう 市では、地球上にあるすべてのものに、尊敬と感謝の気持ちを持ち、人やものを大切にすることを「もったいない運動」を進めています。日々、実践している行動をさらなる行動・実践につなげるために、月の初めに先月までの行動を振り返り、今月の行動・実践につなげましょう。◎環境政策課 ☎(632)2417



知

ることから始めよう

※市では各マークの配布は行っていません。

やさしさを育むさまざまなマーク

<p>障がい者のための国際シンボルマーク</p> <p>障がい者が容易に利用できる建物・施設であることを明確に表すためのマーク</p> 	<p>身体障がい者標識(障がい者マーク)</p> <p>肢体不自由であることを理由に免許に条件を付された人が運転する車に表示するマーク</p> 	<p>視覚障がいを示す国際マーク</p> <p>視覚障がいを示す世界共通のシンボルマーク</p> 	<p>ほじょ犬マーク</p> <p>身体障がい者補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)同伴の啓発マーク</p> 
<p>聴覚障がい者シンボルマーク</p> <p>聴覚障がいを示す世界共通のシンボルマーク</p> 	<p>耳マーク</p> <p>聞こえが不自由であることを表す国内で使用されているマーク</p> 	<p>聴覚障がい者標識(聴覚障がい者マーク)</p> <p>聴覚障がい者が運転する車に表示が義務付けられたマーク</p> 	<p>オストメイトマーク</p> <p>腹部に人工肛門・人工膀胱を装着している人(オストメイト)のための設備があることを表すマーク</p> 
<p>ハートプラスマーク</p> <p>身体内部(心臓・免疫機能など)に障がいのある人を表すマーク</p> 	<p>マタニティマーク</p> <p>妊産婦であることを表すマーク</p> 	<p>介護マーク</p> <p>介護中であることを周囲に理解してもらうためのマーク</p> 	<p>ベビーカーマーク</p> <p>公共交通機関などにおいてベビーカーに子どもを乗せたまま利用できる場所であることを表示するマーク</p> 

思

いやりを大切に

適正に利用しよう

車いすを使っている人や、体が不自由な人のための駐車スペースは、適正に利用しましょう。



専用駐車場は一般駐車場より幅が広く、車いすを使っている人などが便利に使うことができます。



困った時にヘルプカード

障がいのある人などが、自分の障がいの特性や支援してほしい内容を記載しておき、困った際に、周囲の人から適切な支援を得られやすくするカードです。

ヘルプカードの記載内容に沿って積極的な支援や配慮をお願いします。



◎この特集についての問い合わせは、保健福祉総務課☎(632)2919へ。